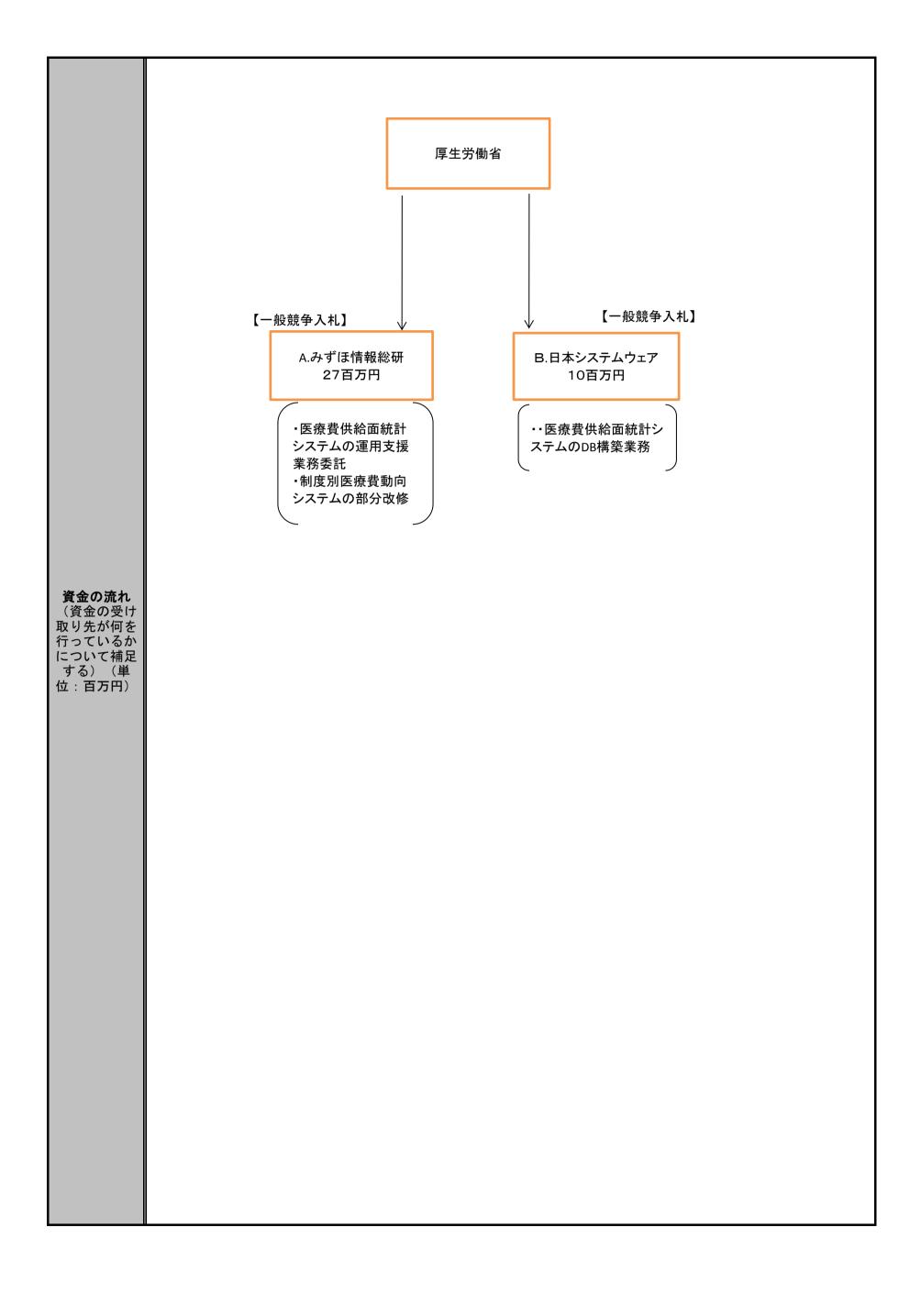
事業番号

250

平成2;					3	年行政事業レビューシート   (厚笠			星生労働省)							
事	業名	医療費供給面統計システム			担当部	局庁		保険局			作成責任者		:者			
	開始 • 5定)年度	_			•			担当詞	果室		調査課			村山 令二		_
会記	甘区分	一般			会計			施策	名	IV め	ー2-1 全国民 、医療保険制度を	に必要な医療を保障 安定的・効率的に資	章できるよう <b>重営するため</b>	るよう、高齢者医療制度改革を るために取り組む		度改革を含
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		統計法第19条					関係する計画、 通知等		•		-	_				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)		医療費の動向を把握し、制度改正や診療報酬改定等の医療保険行政の政策決定の際の基礎資料とする。														
<b>事業概要</b> (5行程度以 内。別添可)		医療供給サイドからの医療費データを収集し、体者・被扶養者別等に医療費動向を分析する。制度					度改正や診		<b>数</b>	定等の医療係	と 険行政の政策					
実別	色方法 	■直	接実施		■業務委託等		口補助		口貨	貸付 —————	□その他 					
						20年度		21年度			22年度	23年度		2	4年度	要求
		予		切予算		55		73			66	42	42		46	
予复	算額・	の状	算補正予算の													
執	<b>行額</b> :百万円)			返し等												
(羊位	· <b>ロ</b> / <b>コ</b> / コ	<i>)</i> ),	計			55		73			66	42		46		
		執行額		額		78		83			37					
		執行率(%)			145%	11:		3%		56%						
成里E	目標及び	成果指標 医療費データに基づく医療費動向の集計・分 析、公表				単位	Ż	20年度	21年度	22年	度	目(	標値 年度)			
成身	<b>ままえ</b> い <b>果実績</b> トカム)				·分	成果実績	2		2	2	2			2		
	<b>(F)</b>							達成度	%		100	100	100	)		
	h.	活動指標						単位	Ż	20年度	21年度	22年	度	23年度	<b>E活動見込</b>	
活動	<b>旨標及び  </b> 助実績 トプット)	医療費データに基づく医療費動向の集計・分 析、公表			活動実績	2		2	2	2		_				
					(当初見込 み)		100	100	( –	)	(	- )				
単位当たり コスト		18,500,000(円/分析)			′分析)		算出根拠	X(執	行額	行額 37,000,000円)/Y(2種類)						
_		費 目 23年度当初		予算	24年度要求		=A -= +0 =    -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1			主な増減理由 よるシステム開発の増						
平 成 2 3 •	システム開発費		発費 	42		46		<b>沴療報酬改</b> 为	定等に	こよる	システム開発	の増				
4																
年度予算内訳																
算中																
訳																
		計		42		46										

		事業所管部局による点検						
	評価	項目	特記事項					
目的・予算	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。						
	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。						
算の	0	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。						
資金の流	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。						
	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。						
使途、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。						
費目	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。						
·	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。						
活動	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。						
動実	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。						
績、	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。						
成果	0	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか						
果実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。						
	正化に努めてきたところである。 ・予算等を重視した開発に取り組む。							
		予算監視・効率化チームの所見						
3	現 状 通 事業の必要性が認められるため、引き続き事業内容及び予算規模を維持すべきである。 り							
	ı	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)					
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)								



		A.みずほ情報総研		E.			
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)	
	雑役務費	医療費供給面統計システム運用 支援業務	14				
	雑役務費	制度別医療費動向分析システムの改修及び運用支援業務	13				
		の以修及び建用又版未物					
	計		27	計		0	
		B.日本システムウェア	・ェア		F.		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)	
	雑役務費	医療費供給面統計システムの構築業務	10			(211)	
		72					
費目•使涂							
<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」 においてブロッ							
クごとに最大の							
金額が支出され ている者につい て記載する。費							
(記載する。質目と使途の双方							
目と使途の双方で実情が分かるように記載)							
	計		10	計		0	
		C.	A #F	G.			
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)	
	<b>=</b> ⊥			÷1			
	計	D	0	<del>iii</del>	L	0	
		D.			H. 估 诠		
	計費目	D. 使途	0 金額 (百万円)	計費目	H. 使途	0 金額 (百万円)	
		·			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
		·			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
		·			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
		·			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
		·			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
		·			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
		·			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
		·			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

## 支出先上位10者リスト A.\_\_\_\_

Λ.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	みずほ情報総研	医療費供給面統計システム運用支援業務	14	1	
2	みずほ情報総研	制度別医療費動向分析システムの改修及び運用支援業務	13	1	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

В

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本システムウェア	医療費供給面統計システムの構築業務	10	4	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					